

基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ① 食と農の大切さを伝えます

具体的な推進事項 1 地産地消や食育を進め、消費者と食・農とのつながりを深めます

○学校給食への県産食材利用促進

【取組】

- ① 文部科学省が定める「学校給食週間」(1/24~30)に合わせ、愛媛かんきつPR用ツールを作成
- ② 学校給食での県産品利用推進を図るため、県教育委員会や市町と連携して、生産者の出荷情報をデータベース化し、県産食材のマッチングを推進

【成果】

- ① 農産物PR用ツール配布を通じ、県産農林水産物の認知度向上
※配布物：下敷き10,000部(対象：小学3年生)
- ②
 - ・学校給食での地元食材の利用拡大
 - ・食材リストデータベースの活用による他の市町での食材利用活用件数：94件[R6：52件]

【関連事業】・地産地消促進事業費：8,902千円

○食育の推進

【取組】

- ・幼少期の子どもたちに農業や県産農林水産物に興味を持ってもらえるよう、県産農林水産物の学習、生産者や産地との交流、農作業体験を実施

【成果】

- ・食に対する感謝の気持ちや農業の大切さについて理解促進
(さといもの定植・収穫体験)

【関連事業】・地産地消促進事業費：8,902千円



愛媛かんきつPR用ツール



さといもの
定植・収穫体験

基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ① 食と農の大切さを伝えます

具体的な推進事項 2 地域の魅力を活かした多様な交流を促進します

○グリーン・ツーリズムの推進

【取組】

- ① グリーン・ツーリズム体験メニュー登録制度により、県内の農林漁業体験メニューを掘り起こし登録
- ② 「えひめGTナビ」ホームページの活用やパンフレットの発行等により情報発信力を強化

【成果】

- ・体験メニュー登録数：276メニュー
- ・体験者数：179千人
- ・売上概算：29,394万円

【関係事業】・里山里海体験型観光推進事業費：3,960千円



「えひめグリーン・ツーリズムナビ」

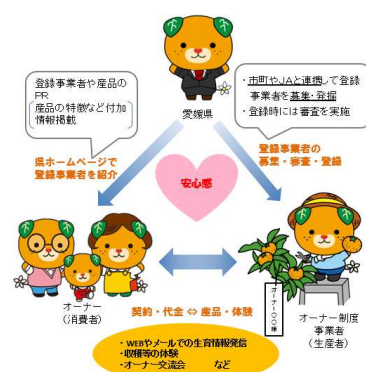
○えひめの農林水産物「ちょっと体験！まるごと収穫！」オーナー制度の推進

【取組】

- ① オーナー制度登録事業者を市町や関係団体等から広く募集
- ② 県HPで登録生産者の取組内容や申込み先などの情報をはじめ、県担当者による生産物の特徴やおすすめポイントなどを併せて掲載し、県内外へ積極的にPR

【成果】

- ・契約オーナー数：延べ256組
- ・体験者数：延べ527人



制度概要

基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ① 食と農の大切さを伝えます

具体的な推進事項 3 匠の技・郷土料理・文化を次世代に伝承します

○郷土料理の継承

【取組】

- ・地域の食文化の保存や伝承等を目的に、えひめ食文化普及講座を開催

【成果】

- ・小学校、中学校、高等学校等にて46回、延べ1,615人に伝承

【関係事業】

- ・えひめ食農教育推進事業費：1,117千円



食文化普及講座

○特産物の雑穀推進による地域農業の活性化

【取組】

- ① 雑穀の生産振興を支援するため、現地実証ほ（2か所）を設置するとともに、ブランドづくり推進会議（2回）を開催
- ② 雑穀を利用した商品開発及び販売を支援
- ③ 貴重な食文化の伝承を支援

【成果】

- ①
 - ・雑穀生産量の確保や実需者への出荷促進を目的とした「雑穀栽培研究会」を設立
 - ・栽培講習会の開催や巡回指導等の実施により、町内の雑穀生産者の生産技術を向上
 - ・雑穀栽培面積：260a（R6：250a）、生産者：29人（R6：23人）
- ②
 - ・地とうきびの粉（はなこ）を用いた商品（はなこねり汁、サブレ）の販売、町内飲食施設における新たな雑穀メニュー（雑穀カレー等）の提供開始
 - ・料理専門家による雑穀レシピの開発と、飲食施設等を対象とした調理講習会の開催により、雑穀の需要を創出
- ③
 - ・上浮穴高校と連携し、小学生及び保護者を対象に雑穀をPR
 - ・食育教育を通じて小学生や園児に、雑穀料理（4品）を伝承・普及

【関係事業】

- ・雑穀生産ステップアップ支援事業費（中予）：1,309千円



雑穀栽培講習会の開催



商品化したはなこねり汁

基本施策 (3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

施策の展開方向 ① 食と農の大切さを伝えます

具体的な推進事項 4 貴重な遺伝資源の収集・保存・供給・活用に努めます

○優良種苗の収集と保存、供給

【取組】

- ・「庄ダイコン」など地域伝承野菜の優良品種育成を行うとともに、農林水産研究所で育成した品種の原種生産を進め、許諾業者に配布

【成果】

- ・「庄ダイコン」の原種を生産・保存
- ・いちご「紅い雫」「あまおとめ」、水稻「ひめの凜」の優良種苗（原種苗）を生産し、許諾業者に配布
- ・さといも「愛媛農試V2号」、やまのいも「やまじ王」、そらまめ「愛のそら」の原種を生産し許諾業者に配布
- ・デルフィニウム「さくらひめ」の種子生産を行い、許諾業者に配布 など

【関係事業】・農業試験研究費：23,859千円

（うち水稻野菜花き類の優良品種・種苗育成試験費：3,036千円）



紅い雫